

家畜飼料特別支援資金融通事業(延長)

1. 事業の目的

配合飼料価格の上昇に対応し、畜産経営に対する飼料購入に要する資金の融通を行うことにより、畜産の安定的発展を図る。

2. 事業の内容

配合飼料価格（補てん金を除く農家実質負担価格）が上昇し、畜産経営の経営努力を踏まえても、生産費が収益を上回るような水準（指標として単位当り配合飼料価格の水準を設定）となった場合、限度額の範囲内において畜産経営に対する資料購入資金の融通を行う融資機関に対して利子補給を行うとともに、債務保証に対する支援を行う。

(1) 資金の用途 飼料費

(2) 貸付利率 0.70%～0.95%（平成22年6月18日現在）

償還期限	利率
5年以内	0.70%
5年を超え6年以内	0.70%
6年を超え7年以内	0.70%
7年を超え8年以内	0.75%
8年を超え9年以内	0.85%
9年を超え10年以内	0.95%

(3) 償還期限 10年（うち据置期間 3年）以内

(4) 貸付限度額
肥育牛 : 100千円/頭
乳用牛 : 50千円/頭
繁殖雌牛 : 12千円/頭
豚 : 9千円/頭
鶏 : 45千円/100羽

3. 融資機関 農協、農協連、農林中央金庫、銀行等

4. 事業実施主体 (社) 中央畜産会

5. 融資枠 (平成19年度～平成22年度) 680億円